

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 27
ID 101003

【施設状況】

| | | | | | | | |
|--------|--|--------|-----------------|---------|------|-----------------|---------|
| グループ名称 | 老人福祉センター(三陽、安茂里、戸隠、鬼無里)、高齢者共同生活支援施設(戸隠栃原、戸隠豊岡)、鬼無里高齢者生活福祉センター | | | | | | |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 | | | | 法人番号 | 9100005001693 | |
| 所管課 | 主 | 101000 | 高齢者福祉課 | 副 | | | |
| 構成施設 | | | 三陽老人福祉センター | | 1388 | 戸隠豊岡高齢者共同生活支援施設 | |
| | 1384 | | 安茂里老人福祉センター | | 5152 | 鬼無里高齢者生活福祉センター | |
| | 1386 | | 戸隠老人福祉センター | | | | |
| | 1410 | | 鬼無里老人福祉センター | | | | |
| | 1385 | | 戸隠栃原高齢者共同生活支援施設 | | | | |
| 施設分類 | 01 | 企画型 | | 施設利用者圏域 | 01 | 地域施設 | 利用制適用区分 |
| | | | | | | 01/03 | #N/A |
| 施設概要 | 【老人福祉センター(三陽、安茂里、戸隠、鬼無里)】 集会室、ボランティア活動室、和室、介護者教室、作業室、事務室等 【高齢者生活福祉センター(鬼無里)】 居室、事務室等 【高齢者共同生活支援施設(戸隠栃原・戸隠豊岡)】 居室、食堂、浴室、事務室等 | | | | | | |
| 施設設置目的 | 【老人福祉センター】 高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の便宜を供与するとともに、地域における福祉活動の場を提供し、高齢者の福祉向上を図る。 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 高齢者に対し、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送ることができるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。 | | | | | | |
| 基本方針等 | 施設の適正な維持管理に努めるとともに、地域福祉活動の場の提供、生きがいつくり講座の開催等の事業を推進することにより、施設の設置目的である高齢者福祉の向上、高齢者の心身の健康増進を図る。 | | | | | | |
| 主な実施事業 | 【老人福祉センター】 高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務。 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 施設の運営(使用の受付、住居の提供、各種相談対応、緊急時の対応、福祉サービス利用手続き援助)、施設の維持管理(建物・設備・備品保守管理、清掃、植栽等維持管理、修繕、警備)等。 | | | | | | |

【項目評価基準表】

| 評価 | 評価基準 |
|--------------|--|
| 5 (優れている) | 協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい |
| 4 (良い) | 協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上 |
| 3 (普通) | 協定、計画が予定どおり実施された |
| 2 (劣る) | ・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要 |
| 1 (悪い) | ・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない |

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

| | | | | | | |
|-----------|---|---|------------|------|---------|-----------|
| 指定管理者名 | 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 | | | 指定回数 | 3 回 | |
| 指定期間 | 平成24年4月1日 | ～ | 平成29年3月31日 | 5年 | 管理運営開始日 | 平成18年4月1日 |
| 指定管理者の健全性 | 施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。 | | | | | 評価 |
| | 特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入) | | | | | 3 |

| 施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など) | | 利用区分等 | 単位 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年比 | 評価 |
|---------------------------|-------|--|----|--------|---------------------------|--------|--------|-------|----|
| | | 老福：生きがいきづくり講座受講者数 | 人 | 9,090 | 9,475 | 8,053 | 8,559 | 106% | 3 |
| | | 老福：地域福祉活動利用者数 | 人 | 6,145 | 4,305 | 3,367 | 4,721 | 140% | |
| | | 老福：グループ活動利用者数 | 人 | 16,796 | 16,700 | 16,787 | 16,076 | 96% | |
| | | 鬼無里高齢者生活福祉センター利用者数(月)* | 人 | 64 | 91 | 103 | 110 | 107% | |
| | | 戸隠栃原高齢者共同生活支援施設利用者数(月)* | 人 | 51 | 51 | 32 | 26 | 81% | |
| | | 戸隠豊岡高齢者共同生活支援施設利用者数(月)* | 人 | 91 | 80 | 67 | 46 | 69% | |
| | | | | | | | | ##### | |
| | | (特記事項) ・利用者のニーズを把握した企画により、利用者増加につながった。 *一年間の各月の利用者数を合計したもの。当施設は必要な人が利用するので、増減は評価の対象とならない。 | | | | | | | |
| 事業実施内容 | 区分 | 協定内容・指定管理者提案 | | | 追加事業、未実施事業及び未実施の理由 | | | | |
| | 市指定事業 | 【老人福祉センター】①地域福祉活動に係る相談、指導及び調整 ②地域ボランティア育成 ③地域福祉活動に関する講習会等の開催 ④地域福祉活動を行う者への会場提供 ⑤各種相談及び情報提供 ⑥高齢者の身体機能の回復訓練 ⑦高齢者を対象とする講座等の開催 ⑧高齢者のクラブ活動等の育成 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】①運営業務(受付、住居の提供、各種相談対応、緊急時の対応等) ②施設管理(建物、設備、備品等の維持管理、清掃、植栽管理、修繕、警備) | | | | | | | |
| | 自主事業 | 提案なし | | | <追加事業> ・介護支援のための介護者の集い | | | | |
| サービス維持・向上の取組み(広報等) | | 【老人福祉センター】 ・センターだより、各種チラシを地域に回覧、配布し、センターの活動や各種講座の情報等を広く周知した。また、広報ながのやブログ、有線放送(鬼無里・戸隠)、INC(鬼無里・戸隠)、報道機関等を通じての広報活動も積極的に実施した。 | | | | | | | |

3 利用者評価

| 区分 | 内容 | | 評価 |
|--------------|---|----------|----|
| 利用者要望把握 | (1) 利用者要望把握方法 | 利用者アンケート | 4 |
| | (2) 調査、会議等の内容 【老人福祉センター】 ・生きがいきづくり講座等の講座受講者を対象に、講座終了後アンケートを実施。(957人中704人から回答) ・調査内容は、①講座内容の満足度、②職員の対応、③施設設備に対する評価 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 ・日常生活の中での聞き取りによる要望等の把握 ・利用者、利用者家族への訪問による要望等の把握 | | |
| 利用者評価 | (3) 調査、会議等の結果 【老人福祉センター】アンケート回答率 73.6% ①講座内容の満足度(とても満足 63.21%/満足 30.68%/ふつう 5.11%/不満 0.28%/とても不満 0.57%/未記入0.15%) ②職員の対応(とても満足 59.38%/満足 36.51%/ふつう 4.11%/不満 0.00%/とても不満 0.00%/未記入0.00%) ③施設設備に対する評価(とても満足 44.32%/満足 45.03%/ふつう 9.80%/不満 0.00%/とても不満 0.00%/未記入0.85%) 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 ・利用者から年間で数件の要望があった。 | | 4 |
| | (1) 良好とする評価 【老人福祉センター】 ①講座内容 ・実習あり会話ありの良い企画で楽しい ・知らない人々と親しくなり楽しく参加させていただいた ・運動が嫌だったが少しはやってみようという気持ちになれてよかった など ②職員対応 ・とても親切で気持ち良かった ・気を使っていた ・相談しやすい ・親身になってくれる など ③施設設備 ・床暖房設備が快適 ・施設の清掃ができていて ・足が悪かったので、イスがありがたかった など 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 ・支援員が親身に相談にのってくれる ・要望等すぐに対応してくれる など | | |
| 利用者からの評価・苦情等 | (2) 苦情・改善等の要望事項 【老人福祉センター】 ①講座の回数を増やしてほしい ②早い時期から長い期間体力維持のための体操講座を企画してほしい ③来年度も同じ講座を開催してほしい ④踊りを確認できるようミラーボードをもう1枚用意してほしい【鬼無里】 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 ①洗濯物の物干が高く届かない。 ②避難通路に誘導等がないため、夜間の避難時暗くて不安 | | 4 |
| | <<対応措置>> 【老人福祉センター】 ①利用者のニーズに合うよう、講座の回数を増やした。(翌年度対応) ②介護予防や健康長寿を目的とした講座の回数を増やした。(翌年度対応) ③人気のある講座については、継続して講座を実施した。(翌年度対応) ④余剰金で、ミラーボードを購入した。 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 ①室内に低い物干を用意し、専用に使っていただいた。 ②誘導灯の設置が必要と思われるので、利用者が増える初冬までには設置する。 | | |

| 事業収支 (単位：円) | 指定管理者収支（平成27年度） | | | | 市の収支 | | | | 評価 | | |
|---|-----------------|------------|-----------|--|------------|-------------|------------|-------------|------------|---------------|-----------|
| | 項目 | 年度計画額 | | 収支実績額 | | 項目 | 平成27年度決算 | | | 平成26年度決算（前年度） | |
| | | 金額 | 金額 | 項目 | 金額 | | 金額 | 金額 | | 項目 | 金額 |
| | 収入 | 利用料金 | 1,287,000 | 利用料金 | 1,012,300 | 歳入 | 使用料 | 2,369,512 | | 使用料 | 3,639,490 |
| | 指定管理料 | 67,628,000 | 指定管理料 | 67,628,000 | 雑（納付金） | | | 雑（納付金） | | | |
| | 委託料 | | 委託料 | | 行政財産目的外使用料 | | 29,166 | 行政財産目的外使用料 | 26,075 | | |
| | 販売収入等 | | 販売収入等 | | その他 | | | その他 | | | |
| | その他収入 | 4,324,000 | その他収入 | 4,124,106 | | | | | | | |
| | 計 | 73,239,000 | 計 | 72,764,406 | | 計 | 2,398,678 | 計 | 3,665,565 | | |
| 支出 | 人件費 | 40,422,000 | 人件費 | 39,939,875 | 歳出 | 指定管理料 | 67,628,000 | 指定管理料 | 67,554,000 | | |
| | 設備管理費 | 6,499,000 | 設備管理費 | 6,556,829 | | 委託料 | | 委託料 | 226,800 | | |
| | 備品購入費 | 31,000 | 備品購入費 | 305,952 | | 需用費 | | 需用費 | | | |
| | 修繕費 | 1,300,000 | 修繕費 | 1,784,151 | | 役務費 | | 役務費 | | | |
| | 光熱水費 | 12,182,000 | 光熱水費 | 11,285,612 | | 使用料・賃借料 | 178,825 | 使用料・賃借料 | 78,937 | | |
| | 事業費 | 7,231,000 | 事業費 | 6,706,529 | | 修繕費 | 480,600 | 修繕費 | 243,000 | | |
| | 事務経費 | 2,223,000 | 事務経費 | 1,406,647 | | 工事請負費 | | 工事請負費 | | | |
| | 本社経費 | 3,351,000 | 本社経費 | 3,542,338 | | 備品購入費 | | 備品購入費 | | | |
| | その他 | | その他 | | | その他 | | その他 | | | |
| | 計 | 73,239,000 | 計 | 71,527,933 | | | 計 | 68,287,425 | 計 | 68,102,737 | |
| 自主事業 | 収入 | | 収入 | | | | | | | | |
| | 支出 | | 支出 | | | | | | | | |
| | 自主事業損益 | 0 | 自主事業損益 | 0 | | | | | | | |
| 損益 | | 0 | | 1,236,473 | 差引 | -65,888,747 | | -64,437,172 | | | |
| 人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合） | | | | | | | | | 55.8% | | |
| 本社経費が、計画額と実績額で異なる理由 | | | | ・他の事業と比較して、計画額に対しての事業費の減少幅が小さいため、負担割合の算出により増加した。 | | | | | | | |

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

| 区分 | 確認内容 | チェック欄 | 評価 |
|------------|---|-------------------------------------|----|
| 職員配置 | 1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 配置実績 (うち市内雇用職員数) | | |
| | 【老人福祉センター】センターごとに所長1名（嘱託）、指導員1名（嘱託）、三陽、安茂里は相談員（臨時）1名 【高齢者生活福祉センター】所長1名（兼務）、援助員1名及び宿直1名（臨時5名で交代勤務） 【高齢者共同生活支援施設（2施設）】所長1名（兼務）、援助員2名及び宿直2名（臨時12名で交代勤務） ※職員は全て長野市在住 | | |
| | 2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか | | |
| | 3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか | | |
| | 4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか | | |
| 平等利用 | 1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか | | |
| 経理 | 1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか | | |
| 施設・備品の維持管理 | 1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか | | |
| セルフモニタリング等 | 1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか | | |

| 区分 | 確認内容 | チェック欄 | 評価 | |
|--|--|----------------------------|----|---|
| 危機管理体制 | 1 危機管理マニュアルなどが整備されているか | ☑ | 3 | |
| | 2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか | | | |
| | 3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか | | | |
| | 個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか | ☑ | | |
| | 防犯、防災対策 | 1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか | | ☑ |
| | | 2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか | | |
| | 緊急時対応、体制 | 1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか | | ☑ |
| 2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか | | | | |

7 地域連携

| 地域連携 | 評価 |
|---|----|
| 地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。 | 4 |
| 協定内容・指定管理者提案 | |
| 追加された内容、未実施の内容及びその理由 | |

【総合評価】

| 評価項目 | 評価 | 得点 | 総合評価 |
|-------------|----|----|--|
| 指定管理者の健全性 | 3 | 6 | <p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>地域の連携</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>----- 基準値</p> |
| 施設の有効活用 | 3 | 12 | |
| 利用者評価 | 4 | 16 | |
| 事業収支 | 3 | 6 | |
| 管理運営全般 | 3 | 12 | |
| 危機管理体制 | 3 | 6 | |
| 地域連携 | 4 | 8 | |
| 合計得点 | | | |

評価理由

【老人福祉センター】
 ・利用者アンケートによる満足度は高く、また、要望把握に努め出来る限り対応しているため、「利用者評価」は「4」とした。
 ・地域団体と協力し、活動への相互参加を行う等積極的に地域連携を行っているため、「地域連携」は「4」とした。
 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】
 ・利用決定を市で行っているため、利用率の向上を図ることは難しいが、利用者が安全かつ快適に利用できるよう要望には迅速に対応している。

取組み・改善案等 (施設所管課)

| 前年度からの課題 | 改善状況 | 改善案等 (改善されていない場合) |
|---|--|-------------------|
| 【老人福祉センター】 ・周辺施設と連携し、地域ごとの利用者のニーズを把握し、魅力ある講座の実施に努め、施設の利用増加を図る。 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 ・入退所のスムーズな対応を行い、入居者が安全で快適な生活を送れるよう施設管理・運営を継続する。 | 【老人福祉センター】 ・地域団体や周辺施設と連携し、ニーズ把握に努め、魅力ある講座の充実を図り、施設の利用増加に繋がった。 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 ・入居者の要望等に配慮し、施設管理・運営を行った。 | |

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)

【老人福祉センター】
 ・地域連携に努め、地域福祉活動や世代間交流を充実させる。また、利用者ニーズを把握し、利用増加を図る。
 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】
 ・入退所のスムーズな対応を行い、入居者が安全で快適な生活を送れるよう施設管理・運営を継続する。

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【老人福祉センター】

- ・センターだより、各種チラシを発行し、施設管内の地域に回覧、配布し、センターの活動や各種講座の情報等を広く周知した。また、広報ながのやブログ、有線放送、INC、報道機関等を通じての広報活動も積極的に実施した。
- ・情報コーナーや展示コーナーを設け、情報の発信や講座のPR活動を行った。また、市ボランティアセンターと連携し、ボランティア保険の加入窓口業務や地域福祉活動、ボランティア活動に係る情報提供を行った。
- ・アンケートで要望の多い講座（歌や体操、ものづくりの等）を開催した。また、初めての方も受講しやすいように、単発の講座を開催した。
- ・男性の利用促進のために、男性限定の講座や男性に人気のある講座（体操、そば打ち等）の開催や、仲間づくりにつながる支援を行った。
- ・講座受講生の活動発表や地域住民との交流の場づくりとして、センターまつりや発表会を開催した。
- ・施設管内の関係機関（住民自治協議会、民生児童委員協議会、小中学校等）の会議等に参加し、連携を図った。
- ・傾聴、ボランティア、接遇等の職員研修を行い、相談対応等のサービス向上に努めた。
- ・併設のデイサービスセンターと連携し、ボランティア活動の場づくりやボランティアをしたい人の受け入れを行った。また、在宅で介護をされている方同士の交流や仲間づくりのために、「介護者のつどい」を実施した。
- ・利用者から要望のあったプロジェクター、ミラーボード、シューズボックス等の備品を購入し、利便性向上に努めた。
- ・日々の館内巡視や消防訓練、救急救命訓練、感染症や熱中症予防等の対策を行い、利用者の安全確保に努めた。

【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】

- ・利用者及び家族等への各種相談・要望に対応するとともに、利用者が必要とする各種支援に努めた。
- ・各種手続き等の支援を実施した。また、利用者の身体状況変化や要望等に応じて、他サービス（福祉用具貸与等）の勧奨・手配を実施した。
- ・併設の老人福祉センター、保育園、デイサービスセンター等の行事案内や参加支援を実施した。
- ・入居者の心身状況等に不安・異常（急変等）が感じられた際、家族への連絡や救急車の要請等の対応を速やかに行った。

② 業務の効率化に対する取組み

【老人福祉センター】

- ・定期的に職員ミーティングを行い、ハウレンソウを徹底し、それぞれの役割を明確にしたうえで業務にあたった。
- ・貼り紙により施設利用者の協力を得ながら、トイレの消灯やクールビズにより節電に努めた。また、予算の範囲内で、順次館内照明のLED化をし、経費節減を図った。
- ・コピー用紙の再利用、カレンダー等を利用したエコ封筒づくり等、経費節減に努めた。
- ・スケジュール管理を徹底し、教室の効率的な使用に努めた。
- ・講座閉講時のアンケートにより、利用者からの要望を把握し、改善事項の検討を行った。
- ・施設の混雑が予想される際は、周辺の企業や寺院の協力を得て、来場者の駐車に支障が出ないよう対応した。【三陽】

【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】

- ・日常的な保守管理や定期的点検を実施した。

③ その他

【老人福祉センター】

- ・保健センターと連携し、自主グループの定例活動時に健康に関するミニ講座を取り入れた。【三陽】
 - ・管内の三地区（古牧、大豆島、朝陽）の地域福祉ワーカー、地域包括支援センター、保健センター等の関係者を参集した三陽管内連絡会議を2か月に1度開催し、情報交換による地域ニーズの把握に努め、講座の企画等施設運営に反映した。【三陽】
 - ・夏休みの子どもの居場所づくりの一環として、自主グループと地域の子どもたちとの交流の場づくりを行った。【三陽】
 - ・ボランティア活動の普及、啓発、促進のため、ボランティアカフェを開催した。【三陽】
 - ・施設まで来られない方を対象に、住民自治協議会と連携し、地域公民館を活用した介護予防、認知症予防の講座を開催した。【三陽、鬼無里】
 - ・お茶のみサロンの活動グループに対する支援を行った。【安茂里】
 - ・地域支え合いネットワーク会議（安茂里、小田切、七二会の三地区合同会議）に参加し、情報交換や地域ニーズの把握を行った。【安茂里】
 - ・地域のおしゃべりサロンに Outreach、講座等のPRを行った。【戸隠】
 - ・市から委託を受けている配食サービスを実施し、見守り活動を行った。【戸隠、鬼無里】
 - ・小中学生のデイサービスでの交流活動の支援を行った。【鬼無里】
 - ・支所を中心に行政や住民自治協議会等関係機関の年間行事予定表を作成し情報提供、情報収集を行い、講座等の日程調整を行った。【鬼無里】
 - ・地震被害のあったホール床、事務室天井、トイレのタイル等の修繕と合わせ、事務室とトイレのLED化を行い、省エネ化を実施した。【鬼無里】
- 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】
- ・定期点検を行い異常の早期発見に努め、軽微な修繕には迅速に対応し、大規模なものは市へ速やかに報告した。また、冬季間においては、ペランダや玄関への雪の吹き込み防止の処置を実施した。
 - ・施設横断的に職員の連絡・情報共有会議等を定期的に開催するとともに、利用者本位のサービス提供や事例研究により、情報交換を行った。
 - ・施設内部清掃、敷地内の除草・草刈り・除草剤散布等を実施した。また、樹木の剪定及びマイマイガ駆除の消毒等を実施した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

【老人福祉センター】

- ・老朽化、経年劣化に伴い、修繕や備品の更新に係る費用が増加している。
 - ・トップランナー制度の導入検討に伴う館内照明のLED化の予算措置が必要。
 - ・冬季の雪の置場の確保が困難である。
 - ・地域の担い手、ボランティアの育成が必要である。
 - ・人口減少及び高齢化による講座参加者の減少を防ぐため、施設までの交通手段の確保や地域公民館での講座開催を検討する必要がある。
 - ・施設の規模に対し駐車場が狭い。特に、保健センターの事業と重複する日は、周辺に臨時の駐車スペースを確保する必要がある。また、保健センターの事業が優先されるため、老人福祉センターの事業を調整しなければならない。【三陽】
 - ・利用者、自主グループの増加に伴い会場の調整に苦慮している。ロビー等の空きスペースの有効利用を検討する必要がある。【三陽、安茂里】
- 【共同生活支援施設・高齢者生活福祉センター】
- ・立地場所が積雪の多い中山間地域であり、施設の消耗・傷みが激しいため、施設等修繕費用が増加している。

(3) 次年度以降の取組み

【老人福祉センター】

- ・アンケートや利用者会議（代表者会議）、住民自治協議会等管内の関係機関などからニーズや要望を把握し、相談対応や講座等の運営に反映することで、施設利用者とともにつくるセンターを目指す。
- ・併設のデイサービスセンターや市介護保険課、地域包括支援センターと連携し、介護予防の取り組みを充実させる。また、新しい総合事業に関して、地域にどのような協力が行えるのか、どのような支援体制が構築できるのか等を住民自治協議会と一緒に検討する。
- ・高齢者の持つ力を地域へ広げることができるような生きがいづくり講座の開催や支援を行う。
- ・職員の資質向上のため、研修を実施するとともに、職員の趣味や特技を活かした講座を企画する。
- ・地域の居場所となれるような事業展開を行う。また、施設まで来られない方を対象としたお出かけ講座を企画する。
- ・そば打ちやウォーキング等の地域の特色を活かした講座を企画する。
- ・地域の担い手育成のため、ボランティアを知る場の企画や、自主グループ等からの人材発掘を行い、地域の活動につなげていく。
- ・計画的な修繕を実施する。

【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】

- ・利用者にとって、よりよい環境で生活していただけるような施設運営を心掛ける。
- ・予算や利用者状況に配慮した、計画的な修繕を実施する。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る